



流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）

任意予防接種費用の一部助成を実施します

流行性耳下腺（おたふくかぜ）の予防接種は「任意接種（保護者の判断で接種するかどうか決めるもの）」であり、自費接種となります。

品川区では、接種される方に接種費用の一部を助成します。

1. **助成対象となる接種年齢** 1歳誕生日前日～4歳の誕生日の前日まで
(満1歳～3歳まで)
2. **助成額** 流行性耳下腺炎 3,000円（一人1回のみ助成）
3. **助成の方法**
品川区内の契約医療機関で接種する場合に限り助成があります。

各医療機関の定める予防接種料金から、助成金額(3,000円)を差し引いた金額をお支払ください。

接種の際は ①母子健康手帳 ②お子さんの健康保険証 をお持ちください。

- ※ 品川区以外で接種した任意予防接種(流行性耳下腺炎<おたふく>)は、助成がありません。
全額自己負担となります。ご注意ください。



裏面につづく

【重要】：健康被害に対する救済措置について

流行性耳下腺炎は予防接種法に基づかない任意の予防接種に位置づけられています。このため、万一ワクチン接種による健康被害が発生した場合は、予防接種法の被害救済の対象にはなりません。独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく、副作用救済給付が適用されます。

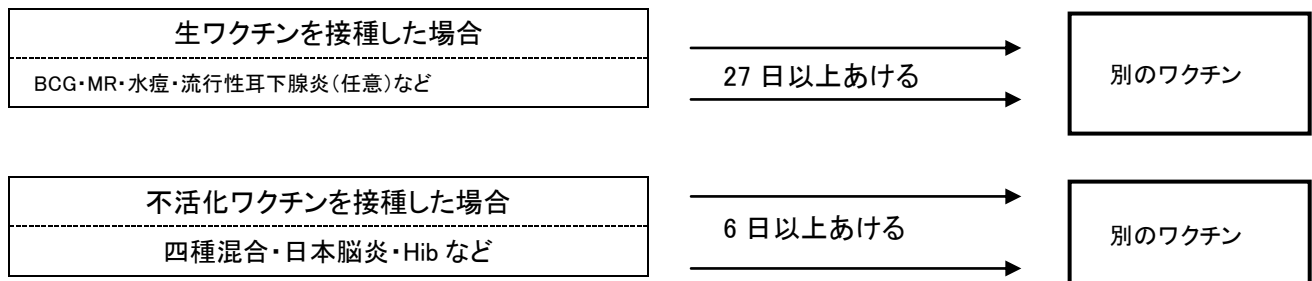
日本国内で販売承認されていないワクチンは、救済制度の対象になりません。
接種するときに、医師にワクチンについて確認をしてから接種を受けてください。

病気について	<ul style="list-style-type: none"> ● ムンプスウイルスによる急性ウイルス性の全身性感染症 ● 潜伏期間: 2~3週間程度 ● 感染様式: 咳、くしゃみ等の飛沫感染、患者との直接接触感染 ● 主たる症状: 耳の下や顎の下の唾液腺の腫脹・痛み、発熱など ● 合併症: 髄膜炎、睾丸炎、卵巣炎、難聴など
ワクチン	<ul style="list-style-type: none"> ● 弱毒化が確かめられている生ワクチンで、1回0.5mlを皮下注射。
効果と副反応の ワクチンの	<ul style="list-style-type: none"> ● 1回の接種により90%以上の割合で免疫が獲得できます。 ● 接種後2~3週間後に発熱、頭痛、嘔吐を呈する無菌性髄膜炎(1人/2,100人程度) ● 急性血小板減少性紫斑病(1人/100万人程度) ● 発熱、耳下腺腫脹、接種局所の発赤・腫脹などは軽度で一過性に経過

【異なった種類のワクチンを接種する場合の間隔】

予防接種で使うワクチンは「生ワクチン」と「不活化ワクチン」があり、ワクチンを接種した後に別のワクチンを接種する場合には間隔を守ることが必要です。

また、医師が必要を認めた場合は、同時接種することもできます。接種医師にご相談ください。



【問い合わせ先】

品川区保健所保健予防課 5742-9152 品川保健センター 3474-2225
 大井保健センター 3772-2666 荏原保健センター 3788-7013

【品川区ホームページ】

品川区 予防接種

検索